

浦賀上陸地支局

(昭和二年一月二日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 所屬部隊 | 職官 | 摘要 |
|--------------------------------|--|--|-----------------------------|
| 支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略ヲ | 飛行第二十七戦隊 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭和十三年七月三日 能谷陸軍飛行中隊第四期操縦生徒卒業 同年同月同日 飛行第二戦隊附〇昭二四二三四 飛行第十五戦隊附 (渡邊)〇昭二五三二二 飛行第三十戦隊附〇昭二六二一九 南支出動 同年一月一任曹長〇同年同月四日大東亞戦参加ノ南支出動 (カレール)〇昭二六二三五 滿洲移駐ノ年カレール出動 昭二六二八 北支出動 曹長及哈爾濱出動ノ同年七月三日比 島チグリス上陸ノ同年一月一任准尉〇昭二九六 投降 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 飛行第二十二戦隊編成年月日 昭一四 同 編成地 北支那(南苑) 編成当所 經爆 二中队 昭二五三一三 中队ニ編成 裝備 編成当所 九八式經爆機 昭二六二五 一九九式經爆機ニ機種改変 昭二四九 昭二四五 復座機斗機ニ機種改変 飛行第三十戦隊 一中隊 九二復(在職當時) 飛行第十五戦隊 三中队 二中队 九七復(一中队 九七經(分)) | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭一五八 一 自昭一五九 一 自昭一六〇 一 自昭一六一 一 自昭一六二 一 自昭一六三 一 自昭一六四 一 自昭一六五 一 自昭一六六 一 自昭一六七 一 自昭一六八 一 自昭一六九 一 自昭一七〇 一 自昭一七一 一 自昭一七二 一 自昭一七三 一 自昭一七四 一 自昭一七五 一 自昭一七六 一 自昭一七七 一 自昭一七八 一 自昭一七九 一 自昭一八〇 一 自昭一八一 一 自昭一八二 一 自昭一八三 一 自昭一八四 一 自昭一八五 一 自昭一八六 一 自昭一八七 一 自昭一八八 一 自昭一八九 一 自昭一九〇 一 自昭一九一 一 自昭一九二 一 自昭一九三 一 自昭一九四 一 自昭一九五 一 自昭一九六 一 自昭一九七 一 自昭一九八 一 自昭一九九 一 自昭二〇〇 一 | 北支南苑ニ於テ編成 第一次支那事変参加(根據飛行場南苑) 滿洲國近吉ニ在リテノ事変又及第一 次支那事変業務ニ参加 南支廣東ニ在リテ第二支那事変参加 マライノスマトラ シンジャバヒルニ在リテ大東亞 戦参加 比島チグリス及チグリス自西ニ在リテ特潜掃 蕩及第一第二次チグリス作戦参加 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭二〇年二月上旬戦隊八第六航空軍ノ隷下ニ編入セラレ戦 隊長以下約一五名内地ニ帰還ス部隊残置員ハ呂宋ニ約 二五〇名 不ガロス島ニ約二〇〇名ヲ有ス 昭二〇年三月米軍不ガロス島ニ上陸 部隊第一六航空地ニ司令部 ノ指揮ヲ入ラシメラ 不ガロス島西方山地ニ據リ抗戦 昭二〇年九月大不ガロス島最高指揮官ノ命ヲ依リ投降 フラリカ 以テ所ニ於テ降参ス 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 終戦ノ後ニ於テ 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭二〇年九月大不ガロス島ニ出動シ不ガロス島ニ移駐 上船時迄 | 飛行第三十戦隊時 若林久清 | 職ノ変更及 主ニ参加 戦開名ヲ 記ス |

51

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 所属部隊 | 職官 | 備考 |
|--------------------------------|---|---|--|
| 浦賀 | 飛行第三十七隊 | 飛行第三十七隊隊長 橋本國夫 | 終戦時之 与記ス |
| 支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略ヲ | 昭和二十一年八月五日自志願隊員として、同年九月、飛行第三十七隊隊長に任ぜられた。同年十月、飛行第三十七隊隊長に任ぜられた。同年十一月、飛行第三十七隊隊長に任ぜられた。同年十二月、飛行第三十七隊隊長に任ぜられた。 | 職名変更及 主ナル参加 戦開名ヲ 記ス | 職名変更及 主ナル参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 飛行第三十七隊 編成首初 一九四一年九月 飛行第三十七隊 編成首初 一九四一年九月 | 北支那(南支)編成首初 陸軍中隊隊長 一九四一年九月 | 最後ノ所 属部隊 五二二高 其ノ以テ 所属部隊 ノ介テモ 概 記ス |
| 所属部隊 作戰経過 ノ概要 | 自一九四一年九月、南支那方面に派遣された。同年十月、南支那方面に派遣された。同年十一月、南支那方面に派遣された。同年十二月、南支那方面に派遣された。 | 南支那方面に派遣された。同年十月、南支那方面に派遣された。同年十一月、南支那方面に派遣された。同年十二月、南支那方面に派遣された。 | 帰還輸送 ノ状況ヲ 併記ス |
| 終戦(又ハ主 力ノ戦ヲ終了 後ノ状況) | 昭和二十一年十二月二日、終戦を迎えた。同年十二月三日、終戦を迎えた。同年十二月四日、終戦を迎えた。同年十二月五日、終戦を迎えた。 | 終戦を迎えた。同年十二月三日、終戦を迎えた。同年十二月四日、終戦を迎えた。同年十二月五日、終戦を迎えた。 | 帰還輸送 ノ状況ヲ 併記ス |
| 帰郷(又ハ連 絡)先 | 浦賀 | 浦賀 | 帰郷先 |
| 備考 | 一各上陸地支局ハ各帰還学校ヲテテ本報告ヲ記載セシム 才一復員省史実部ニ送付スルモノトス | 一各上陸地支局ハ各帰還学校ヲテテ本報告ヲ記載セシム 才一復員省史実部ニ送付スルモノトス | 備考 |

65組

浦賀上陸地支局

(昭和20年12月22日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 飛行隊 | 職官 | 摘要 |
|-------------------------------|---|------------|--|
| 不列島 | 飛行隊 | 小原政雄 | 終戦時モ 今記ス |
| 支那事変以 降ニ於ケル 自己ノ略歴 | 昭二五、四、二九引續キ滿洲ニ於テ事変業務ニ従事 昭二七、一、一五飛行隊中隊隊長任職 昭二八、二、二出戦後 一、加島撤退作戦ニ参加(空中勤務者トシテ) 二、第一支隊ニ於テ作戦ニ参加(第一支隊中隊隊長任職) 三、第一支隊ニ於テ作戦ニ参加(第一支隊中隊隊長任職) 四、第一支隊ニ於テ作戦ニ参加(第一支隊中隊隊長任職) | 職官 小原政雄 | 職官更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス |
| 所属部隊 編成年月日 及編制装 備ノ概要 | 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 | 職官 小原政雄 | 最良ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記ス |
| 所属部隊 作戦経過ノ 概要 | 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 | 職官 小原政雄 | 最良ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記ス |
| 終戦ノ主 力ノ戦斗終 了ノ状況 | 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 | 職官 小原政雄 | 最良ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記ス |
| 帰郷(又ハ 連絡)先 | 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 | 職官 小原政雄 | 最良ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記ス |
| 其他ノ参 考事項 | 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 昭二五、三 遊撃隊中隊編成 | 職官 小原政雄 | 最良ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記ス |

44

0133

87

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十六日)

史實調査参考資料報告

| 史實調査参考資料報告 | | 所在地 | | 職官 | | 摘要 |
|-------------------------------|---|--|-----------------------|------|--------------------------|--|
| 所屬部隊 | 氏名 | 佐藤 | 政輝 | 職官 | 佐藤 | 政輝 |
| 支那事変以後 降三於ケル自 己ノ略歴 | 昭和三十二年七月二十四日勅令獨立元帥司令部 隊編入支那事変参加昭和三十四年三月元帥司令部 隊編入同年九月ノモンゴリアン事変参加引續キ國境 警備(滿洲國四省省境)昭和三十六年十二月大東亞 戦争参加香港攻囲各ニエリキヤ、フイリニピン方面 隊編入 | 昭和三十四年三月 元帥司令部五戰隊編成(甲) | 昭和三十二年七月 獨立元帥司令部五戰隊編成 | 陸軍中尉 | 陸軍中尉 | 職、変更及至 ナル参加戦斗 各ヲ記ス |
| 所屬部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 昭和三十四年三月 元帥司令部五戰隊編成(甲) | 昭和三十二年七月 獨立元帥司令部五戰隊編成 | 陸軍中尉 | 陸軍中尉 | 職、変更及至 ナル参加戦斗 各ヲ記ス | 最後、所屬部 隊ヲ主ニシ尚 其、以前ノ所 屬部隊ノ分 ヲモ概記ス |
| 所屬部隊 作戰經過 ノ概要 | 昭和三十四年三月 元帥司令部五戰隊編成(甲) | 昭和三十二年七月 獨立元帥司令部五戰隊編成 | 陸軍中尉 | 陸軍中尉 | 職、変更及至 ナル参加戦斗 各ヲ記ス | 最後、所屬部 隊ヲ主ニシ尚 其、以前ノ所 屬部隊ノ分 ヲモ概記ス |
| 終戦(又ハ主 力ノ戦斗終 了)後ノ狀 況 | 昭和三十二年九月四日、元帥司令部五戰隊編成 投降、同年十月二十日、元帥司令部五戰隊編成 三ノ日、元帥司令部五戰隊編成、三ノ日、元帥司令部 昭和三十二年十二月五日、元帥司令部五戰隊編成 浦賀上陸 | 昭和三十二年九月四日、元帥司令部五戰隊編成 投降、同年十月二十日、元帥司令部五戰隊編成 三ノ日、元帥司令部五戰隊編成、三ノ日、元帥司令部 昭和三十二年十二月五日、元帥司令部五戰隊編成 浦賀上陸 | 陸軍中尉 | 陸軍中尉 | 職、変更及至 ナル参加戦斗 各ヲ記ス | 歸還輸送、 狀況ヲモ併 記ス |
| 歸郷(又ハ連 絡)先 | 福岡縣 | 福岡縣 | 佐藤 | 政輝 | 佐藤 | 政輝 |
| 其他ノ参 考事項 | | | | | | |
| 備考 | 各上陸地支局ハ歸還將兵ヲシテ、本報告ヲ記載セシメ 才ニ復員省史実部ニ連送スルモノトス | | | | | |

0134

90

浦賀上陸地支局

(昭和20年12月16日)

史實調査参考資料報告

| 所在地 | 職官 | 陸軍海尉 | 名 | 登 | 摘要 | |
|-------------|--|------|---|---|-----------|--------------------------------|
| 比律賓ネグロス島ニテ | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 終戦時ノモノヲ記ス | |
| 所屬部隊 | 飛行第四十五戦隊 | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 職ノ変更及至ル参加戦斗名ヲ記ス |
| 支那事変以降ニ於ケル自 | 飛行第三十三戦隊ニテ滿洲嫩江ノ警備及電氣班長、支那台灣ノ海南島ノタイ國ノビルマ方面ノ戦斗ニ参加ス | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 職ノ変更及至ル参加戦斗名ヲ記ス |
| 所屬部隊 | 昭和十七年十二月五日飛行第三十五戦隊ニ転属着、横須賀駐屯隊第三中隊ニ假ハシ、トク島着、戦隊本部所屬兵器係ヲバウルトニシヤリ、ウエワクーブウツトハンサ由戦斗ニ参加ス、機務加乗ニテ銚田飛機場ニテ三月昭和十九年三月ト自ルソノ島ニ着、後ネグロス | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ、尚其ノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ、概記ス |
| 概要 | ヒリピンネグロス島タリサイ。サラヤニテ飛行場展開昭和十九年六月下旬、昭和三十年二月十二日戦斗ノ為赤坂台ニ行キ、就島部隊野戦倉庫ニ修業ス | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 終戦(又ハ主カ、戦斗終了)後ノ状況 |
| 所屬部隊 | 昭和二十一年四月二日赤坂台出発、双葉台、羽黒台ニ食糧運搬、昭和二十一年五月五日無名量線ニテ野戦倉庫食糧運搬、昭和二十一年七月十六日ラビニテ戦斗ニ配属、昭和二十一年九月四日米庫投降、同年十月二十六日フアフリカ出発、同年十月三十日レイテ島ニ到着、同年十二月五日帰還、以後同地出発、同年十二月十四日浦賀に着 | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス |
| 備考 | 各上陸地支局ハ歸還將兵ヲシテ、本報告ヲ記載セシメ、才一復員省史實部ニ連送スルモノトス | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 備考 |
| 備考 | 福島縣 | 氏名 | 濱 | 名 | 登 | 備考 |

0135

浦賀上陸地支局

(昭和二十年一月二十五日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 比島ノグロノ島 | 職官 | 陸軍部長(空勤) 菅海武夫 | 摘要 |
|--------------------------------|---|----|------------------|--|
| 所属部隊 | 飛行才四五戦隊 | 氏名 | | 終戦時ノ ノリ記ス |
| 支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略ク | 昭和十三年一月十日習志野騎兵才一五戦隊入營。昭和 十三年四月一七日才一七師団捜索隊編入。昭和十七年 三月一日使進才三聯隊戦属。昭和十七年十二月二日飛行才 六五戦隊戦属。昭和十七年十二月九日飛行才四五戦隊戦属 | 職官 | | 職官変更及 主ナル参加 戦開名ヲ 記ス |
| 所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 飛行才四五戦隊 編成年月日不明 本部 三箇中队 複座戦闘機(一式) | 氏名 | | 最後ノ所 属部隊ヲ 示シ 其ノ以テ 所属部隊 ノ分ヲ概 括ス |
| 所属部隊 作戰經過 ノ概要 | 自昭和十七年十二月七日 至ノ十八日 自ニヤニヤソモノ諸島ノ航空 作戰ニ從リ相繼ギ戦果ヲ著 シタルモノト認ム 其後戦隊ハ針田飛行学校ニ於テ二月間ノ複 座戦闘機ノ機種変更修了後ネグロス島米軍 ニ展開船団援護又レインゲ文島ニ参加感状授与サ ル | 氏名 | | 帰還輸送 ノ状況ヲ 併記ス |
| 終戦(不) 力ノ戦ヲ終 了ノ状況 | 昭和二十年一月 日戦隊ハ防空戦隊トシテ朝 鮮ニ展開ヲ命ゼラレ空中部隊ノ主力ハ出發 ス。地上部隊ハネグロス島作戰ニ從リ九月四 日米軍ニ武装解除サル(奉天ノ院ノ部隊ノ状況不明) | 氏名 | | |
| 帰還(又ハ連 絡)先 | 千葉果 | 氏名 | | |
| 其他ノ参 考事項 | | 氏名 | | |
| 備考 | 一名上陸地支局ハ各帰還輸送ヲシテ本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ送還スルモノトス | 氏名 | | |

0136

關東上陸地支局 昭和二十一年三月十八日

史實調査參考資料報告

摘要

| 備考 | 其ノ他ノ參考事項 | 先 歸郷(又ハ連絡) | 終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況 | 所屬部隊作戰經過ノ概要 | 所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要 | 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴 | 所屬部隊(固有名) | 職官 | 終戦時ノモノヲ記ス |
|----------------------|----------|-------------------|-------------------|--|-----------------------------|--|-------------------|----------------|-----------|
| | | | | | | | 全右所在地 | 氏名 | |
| 將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス | ナシ | 兵庫縣 [Redacted] | 昭和三十二年六月五日終戦 | 支那事變 香港攻果戦 大東亞戦争 | 昭和三十二年三月五日元寇第甲五隊隊員 輕爆隊中隊 | 香港攻果戦 大加 昭和二十一年九月三日大東亞 戦争 三島沖 昭和二十一年二月一日任少将 | 陸軍第四十五戰隊 ネノヒ兵隊 | 隊附陸軍少佐 木崎 三 | |
| | | | 歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス | 最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス | | 職ノ變更及主ナル 參加戰闘名ヲ 記ス | | | |

132

附表第三

關東上陸地支局

昭和二十一年三月十八日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称)

職官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ記ス

全右所在地

朝鮮郡山

氏名

下田重義

職ノ變更及主ナル參加戰團名ヲ記ス

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

昭和十二年七月ヨリ十三年八月ニテ獨立中隊隊長掛下重義
 十三年八月ヨリ十五年十二月ニテ中隊隊長掛下重義
 十五年十二月ヨリ十八年七月ニテ大隊長掛下重義
 十八年六月ヨリ大隊隊長掛下重義

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

昭和十三年七月十五日 飛行中隊隊長掛下重義
 昭和十三年八月二日 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年七月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年八月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年九月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年十月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年十一月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十四年十二月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年一月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年二月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年三月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年四月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年五月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年六月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年七月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年八月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年九月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年十月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年十一月 飛行第四中隊隊長掛下重義
 昭和十五年十二月 飛行第四中隊隊長掛下重義

所屬部隊作戰經過ノ概要

昭和十三年七月ヨリ北支及中支ノ各部隊ニ參加
 昭和十四年九月ヨリノモンゴリア事情ニ參加
 昭和十四年十一月ヨリ香港攻勢ニ參加
 昭和十四年十二月ヨリ上海攻勢ニ參加
 昭和十五年一月ヨリ南京攻勢ニ參加
 昭和十五年二月ヨリ揚子江攻勢ニ參加
 昭和十五年三月ヨリ長江攻勢ニ參加
 昭和十五年四月ヨリ武漢攻勢ニ參加
 昭和十五年五月ヨリ長沙攻勢ニ參加
 昭和十五年六月ヨリ衡陽攻勢ニ參加
 昭和十五年七月ヨリ桂林攻勢ニ參加
 昭和十五年八月ヨリ柳州攻勢ニ參加
 昭和十五年九月ヨリ南寧攻勢ニ參加
 昭和十五年十月ヨリ貴陽攻勢ニ參加
 昭和十五年十一月ヨリ昆明攻勢ニ參加
 昭和十五年十二月ヨリ成都攻勢ニ參加

終戦 (又ハ主力ノ戰團終了) 後ノ概況

一、主力ハ内地帰還 (特殊改変タメ十九年十二月) ノタメ其ノ後不明
 二、不詳
 三、不詳
 四、不詳
 五、不詳
 六、不詳
 七、不詳
 八、不詳
 九、不詳
 十、不詳
 十一、不詳
 十二、不詳
 十三、不詳
 十四、不詳
 十五、不詳
 十六、不詳
 十七、不詳
 十八、不詳
 十九、不詳
 二十、不詳

先 歸郷 (又ハ連絡)

長崎縣

其ノ他ノ參考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

0139

第百陸陸軍師長

陸軍
20.12.30
陸軍

一 飛行第十一戰隊(或第十一部隊)

昭和十八年十一月八日使令

十九年三月所沢

十九年八月比島

新隊長 陸軍少佐 木村下清 十部

一 第四航空軍 第十一飛行師團

第十一飛行師團 飛行第十一戰隊

一 レイテ作戦(於テノ島)

一 可ナリ(但シ比島敵上陸後 待給)

支給ヲ受ケス(昭二、一月以降)

一 昭二、九月迄の支給口又島人ナリカ、敵空軍所又新

又 十月二十六日 同島出撃

又 十月二十七日 レイテ島に到着

又 十一月二十六日 レイテ島に到着

又 十二月四日 浦賀上陸

104

關東上陸地支局 昭和二十一年 三月十九日

史實調査參考資料報告

| 所屬部隊 (固有名) | | 職官 | | 終戦時ノモノヲ記ス | 摘要 |
|--------------------|--|-----------|--|--------------|----|
| 飛行第六大隊 | | 陸軍中尉 川島利雄 | | | |
| 全右所在地 | | 氏名 | | | |
| シマノウチマツ | | 川島利雄 | | | |
| 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴 | <p>昭和十八年二月二十五日飛行第六大隊に赴任 二、全右支隊長として十月三十一日まで方面防衛隊隊長を兼務 三、全右支隊長として十月三十一日まで方面防衛隊隊長を兼務 四、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に赴任 五、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に赴任 六、全右支隊長として十月三十一日まで方面防衛隊隊長を兼務 七、昭和二十年二月以降は各方面防衛隊隊長を兼務</p> | | | | |
| 所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要 | <p>一、昭和十八年八月九日飛行第六大隊に編成 二、本隊時ノ編成 本部三、中隊九、大連機三、十六機 三、昭和十九年四月九日命令ニ基キ編成改メ 四、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に編成改メ 五、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に編成改メ</p> | | | | |
| 所屬部隊作戦経過ノ概要 | <p>一、飛行第六大隊は在東第一七飛行隊に隊員を補充 二、本隊時ノ編成 本部三、中隊九、大連機三、十六機 三、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に編成改メ 四、昭和十九年八月九日飛行第六大隊に編成改メ</p> | | | | |
| 終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況 | <p>一、昭和二十一年九月四日改稱前未だ全右方面に在り 二、全右支隊長として十月三十一日まで方面防衛隊隊長を兼務 三、昭和二十一年九月九日命令ニ基キ改稱後去職 四、三月十八日浦賀ニ帰還</p> | | | | |
| 先歸郷(又ハ連絡) | <p>黒塗り</p> | | | | |
| 其ノ他ノ参考事項 | <p>黒塗り</p> | | | | |
| 備考 | <p>將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス</p> | | | | |
| | | | | 歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス | |

0141

浦賀上陸地支局

(昭和20年12月)

21.1.4
第一編

| 史實 | | 調査参考資料報告 | | 摘要 |
|------------------------------|---|---|---|---|
| 所在地 | 職官 | 氏名 | 職官 | 終戦時モ 今記ス。 |
| 浦賀上陸地支局 | 陸軍少佐 | 長野武夫 | 職官更更及 主ナル参加 戦闘者ヲ記 ス。 | 最後、所属 部隊ヲ至ニ 尚其以前 所属部隊 分ヲモ概記ス。 |
| 支那事史 以降ニ於テ 自己略歴 | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス |
| 所属部隊 編成年月 日及編制装 備概要 | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス | 昭和十九年十月一日飛行第二〇〇戦隊編制 編制空中部隊ニテ中隊整備班ニテ中隊 主任トシテ明野騎員軍歴少年中隊兵科幹ヲ以テ 編制七〇特別十部隊ニシテ 整備班ニテ八四騎科材約八十騎ヲ持テ其ニ以テ 十〇整備班及飛行兵科ヲ有ス |
| 所屬部隊 作戰經過 概要 | 第一次空襲大島着十月二十日降下トシテ 作戦ニ参加 飛行場ノ不備補充機ノ不足探査及整備員 器材取扱ニ十分ノ知識ヲ得テ其ノ後 作戦意ヲ拒クテテリテ原因ト思フ | 第一次空襲大島着十月二十日降下トシテ 作戦ニ参加 飛行場ノ不備補充機ノ不足探査及整備員 器材取扱ニ十分ノ知識ヲ得テ其ノ後 作戦意ヲ拒クテテリテ原因ト思フ | 第一次空襲大島着十月二十日降下トシテ 作戦ニ参加 飛行場ノ不備補充機ノ不足探査及整備員 器材取扱ニ十分ノ知識ヲ得テ其ノ後 作戦意ヲ拒クテテリテ原因ト思フ | 第一次空襲大島着十月二十日降下トシテ 作戦ニ参加 飛行場ノ不備補充機ノ不足探査及整備員 器材取扱ニ十分ノ知識ヲ得テ其ノ後 作戦意ヲ拒クテテリテ原因ト思フ |
| 終戦(又ハ主 力)戦終 了)後ノ状 況 | 空中部隊ノ活動ハ十音上句ヲ以テ終了シ 一以陣地上部隊隊員留者ヲ以テ在隊縮減地上 戦士ニ帯テ、此上戦士ニ於テ敵ノ兵器ノ負及量ニ於 テ負テ居ル事、何ト云フテモ敵ノ物量ニ整ナシトシ | 空中部隊ノ活動ハ十音上句ヲ以テ終了シ 一以陣地上部隊隊員留者ヲ以テ在隊縮減地上 戦士ニ帯テ、此上戦士ニ於テ敵ノ兵器ノ負及量ニ於 テ負テ居ル事、何ト云フテモ敵ノ物量ニ整ナシトシ | 空中部隊ノ活動ハ十音上句ヲ以テ終了シ 一以陣地上部隊隊員留者ヲ以テ在隊縮減地上 戦士ニ帯テ、此上戦士ニ於テ敵ノ兵器ノ負及量ニ於 テ負テ居ル事、何ト云フテモ敵ノ物量ニ整ナシトシ | 空中部隊ノ活動ハ十音上句ヲ以テ終了シ 一以陣地上部隊隊員留者ヲ以テ在隊縮減地上 戦士ニ帯テ、此上戦士ニ於テ敵ノ兵器ノ負及量ニ於 テ負テ居ル事、何ト云フテモ敵ノ物量ニ整ナシトシ |
| 歸郷(又ハ 連絡)先 | 鹿島 | 鹿島 | 鹿島 | 歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス。 |
| 其他ノ参 考事項 | | | | |
| 備考 | 各上陸地支局ハ各帰還將校ヲシテ本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ連送スルモノトス。 | | | |

浦賀上陸地支局

(昭和20年12月21日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 所屬部隊 | 職官 | | 摘要 |
|--------------------------------|--|-----|------|--|
| | | 氏名 | 階級 | |
| 浦賀 | 飛行第三百隊 | 瀨口清 | 陸軍准尉 | 終戦時之 手記不 |
| 支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略下 | 昭和十五年三月九日飛行第六大隊隊員入營 昭和十五年五月五日迄興安北省海拉尔及 孫家湾ニ在リテ第二次之ハハハ事件直捷参加 昭和十五年十月十日陸軍省軍務課長官舎於陸軍省 昭和十五年十二月十日陸軍省軍務課長官舎於陸軍省 昭和十五年十月十日陸軍省軍務課長官舎於陸軍省 | | | 職主参更更及 主タル参加 戦闘名 記不 |
| 所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 | 編成年月日 昭和十九年十月十三日 編成地 明野教導飛行師団 編制 戦隊本部 一等隊隊員編成 裝備 第一中隊 第一中隊 | | | 最良ノ所 屬部隊ヲ 主ニ以テ 其ノ以テ 所屬部隊 ノ分テモ 記ス |
| 所屬部隊 作戦經過 ノ概要 | 昭和十九年十月 本島ニ轉進 主としてノ作戦ニ参加 | | | |
| 終戦(又ニ玉 力ノ戦ヲ終了 後ノ状況) | 一 昭和十九年十月下旬戦隊八戦隊員以下、呂宋ニ轉進 二 戦隊員ハ、本島ニ轉進シテ、本島ニ轉進 三 戦隊員ハ、本島ニ轉進シテ、本島ニ轉進 四 戦隊員ハ、本島ニ轉進シテ、本島ニ轉進 | | | 帰還輸送 ノ状況ヲ 併記ス |
| 帰郷(又ハ連 絡)先 | 神奈川縣 | | | |
| 其他ノ参 考事項 | | | | |
| 備考 | 一 各上陸地支局ハ各帰還呼称ヲ本報告ヲ記載セシメ 才(復員省)史実部ニ送還スルモノトス | | | |

52

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月八日)

史實 調査 参考 資料 報告

| 所在地 | 比島 (クダマ島) | 職官 | 筆頭 陸軍部 陸軍部 公 豊 彦 | 摘要 |
|-------------------------------|--|--|------------------|---------------|
| 所屬部隊 | 第三戰術飛行集團第3戰隊 | 氏名 | 公 豊 彦 | 終戦時モ ノヲ記ス。 |
| 支那事変 以降ニ於テ 自己ノ略歴 | <p>昭和十八年十月十日滿洲口黑河省黑河第七口境に備置隊於テ支那事変 終大東亞戰爭ニ從事。同日明野陸軍飛行學校附 昭和十九年十月三日第三戰術 飛行集團飛行第三戰隊ニ編入。同月二十日新田原飛行場出發。同月二十日比 島クダマ島着陸。同月二十五日比島クダマ島ニ着陸。同日ヨリクダマ島攻撃ニ參加 。昭和二十年三月九日米軍上陸。野野兵團ニ屬シ「ミラ」戰術ニ參加。以後「ミラ」 山ニ於テ「クダマ島」戰術ニ參加。同年九月四日大命ニ依リ投降ス。</p> | 職ノ變更及 主ナル參加 戰闘名ヲ記 ス。 | | |
| 所屬部隊 編成年月 日及編制裝 備ノ概要 | <p>昭和十九年十月十日第三戰術飛行集團飛行第三戰隊編成ニ終 編成裝備 概略 本部 空軍部隊六ノ中隊 (機八四式 八七機) 整備隊、二中隊 通信隊 一ノ中隊 昭和十九年十月十日第三戰術飛行集團飛行第三戰隊編成 (隊長中尉長沢敷三 以下一五八名)</p> | 最後ノ所屬 部隊ヲ至ニシ 尚其ノ以前 所屬部隊ノ 分ヲモ概記ス。 | | |
| 所屬部隊 作戰經過ノ 概要 | <p>昭和十九年十月二十五日ヨリ同年十二月三日間クダマ島ニ於テクダマ島攻撃 作戰 (主力) 昭和二十年三月二十九日迄「クダマ島」準備。同日於單上陸。激戰後「クダマ島」 マニガハシ山ニ於テ兵團右地ニ線ヲ担任 (當時臨時編成第一聯隊第五 中隊) 其間斬込戰術等ノ功績ニ依リ河野兵團長ニ賞詞 ヲ授ク 其他詳細事項ハ書類隊長推シテ不詳</p> | 帰還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス。 | | |
| 終戦(又ハ主 力ノ戦斗終 了)後ノ狀 況 | <p>昭和二十年九月四日大命ニ依リクダマ島ヲワタリカ。米軍第五〇三落下 傘部隊ニ投降シ「クダマ島」收容。十月二十七日クダマ島第一收容 容場ニ入場。十一月二十日米軍ノ指名ニ依リ第四六組ヲ編成。ラ完 了。以後米軍「クダマ島」上船岸口ス。</p> | 帰還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス。 | | |
| 歸郷(又ハ 連絡)先 | <p>廣島線</p> | | | |
| 其他ノ參 考事項 | | | | |
| 備考 | <p>各上陸地支局ハ各歸還將校ヲシテ本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史實部ニ運送スルモノトス。</p> | | | |

158

42

65組

浦賀上陸地支局

(昭和20年12月22日)

史実調査参考資料報告

| 所在地 | 所屬部隊 | 職官 | 摘要 |
|-------------------------------|---|------------------------------|--|
| 北島ネグズ島 | 飛行第十七戦隊 | 陸軍准尉 夏井友伊三郎 | 終戦時トモ ノ記ス |
| 支那事変以 降ニ於ケル 自己ノ略歴 | 昭和十五年四月二十九日引續キ滿洲牡丹江省 綏陽ニテ勤務昭和十七年六月十日附テ以テ西 中百部隊ニ転属昭和十八年十月十日陸軍航空部 ヲ移テ入隊卒業業ト共ニ飛行第十七戦隊ニ転属ス 昭和十九年五月二十九日作戦ノタメ小牧飛行場ヲ空輸 シテ出陣六月四日マニラ東飛行場ニ到着 | 職ノ変更及 主ナル参加 戦ヲ名ヲ記 ス | 最良所屬 部隊ヲモ 尚其ノ以テ 所屬部隊ノ 分ヲモ概記ス |
| 所屬部隊 編成年月日 及編制装 備ノ概要 | 昭和十九年二月十日編成 三式戦闘機一四五機 軍偵一三機 整備員ハ小銃携行六〇名 | | |
| 所屬部隊 作戦経過 概要 | マニラニ於テ作戦及訓練 昭和十九年九月十九日三十一日マニラ各駐 隊戦隊ハ全機ヲ以テ戦闘ス コイテ北島作戦ノタメネグズ島ニ整備員派遣 ヲカルコトヲ飛行場ニテ勤務隊長以下数名ノ空 軍務者ハマニラニ歸隊整備員ハ其ノ儘残 置本隊ハマニラニアリテ作戦ニシテ島 遣者ハ半年間ネグズ島ニ上陸ト同時ニ入ル 昭和十九年九月六日下山ス | | |
| 終戦又ハ主 力ノ戦ヲ終 了シテ概 況 | 昭和十九年九月六日ハブリカ島軍收容所ニ收容 昭和十九年十月二十五日サカホル島ニ收容 昭和十九年十一月二十七日コイト島第一三收容所 昭和十九年十一月二十五日浦賀上陸 ニ入ル | 運送輸送 ノ状況ヲモ 併記ス | |
| 帰郷又ハ 連絡ノ先 | 青森県 | | |
| 其他ノ参 考事項 | | | |

0145

関東上陸地支局 昭和三年三月十日

史實調査参考資料報告

飛行第二十三戰隊 職官 軍医少尉

北島三郎又自島 六名 富田守中

摘要 終戦時ノモ
ヲ記ス

所屬部隊
今在所在地

昭和十九年二月七日軍医予備員トシテ召集
サレ飛行第三十三戰隊附トナリ同年七月三日
門可出港北島三郎二月十日十五日陸上陸シ
昭和十九年九月九日北島三郎又自島ニ歸サレ
昭和十九年九月九日北島三郎又自島ニ歸サレ
編成 昭和十九年三月一日
姓名簿 八四給四十枚
兵員 五三三員

職変更及
主ナル参加
戦闘名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制
裝備ノ概要

先遣部隊以ヨリ名ニ於テ北島三郎
ニ在リテ昭和十九年十月末本隊飛来シ
直ニ飛行隊トシテ兵員約百名ニテ北島
三郎ヲ飛行隊長トシテ北島三郎飛行隊
艦上トシテ北島三郎飛行隊長トシテ北島
飛行隊長トシテ北島三郎飛行隊長トシテ
編成シ昭和十九年三月末本隊陸上陸シ
シテ三十三戰隊ノ職官トシテ北島三郎
云自投降ス

最後ノ所屬
部隊ヲ主ニ
シ尚ソノ以
前所屬部
隊ノ分ヲモ
概記ス

川原部隊ノ概況
経過ノ概要

九月三日北島三郎又自島ニ歸サレ
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
ハコトトシテ北島三郎又自島ニ歸サレ
三轉送セシテ北島三郎又自島ニ歸サレ
部隊トシテ北島三郎又自島ニ歸サレ
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島

歸還輸送
概況ヲモ
併記ス

戦時ノ概況
後ノ概況

先
歸還ノ概況

其他ノ参考事項

備考

將隊ニ於テ北島三郎又自島ニ歸サレ
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島
北島三郎又自島ニ歸サレ北島三郎又自島

105

0147

關東上陸地支局 昭和 年 月 日

史實調査參考資料報告

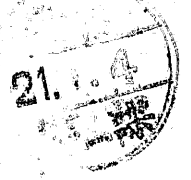
摘要

| 備考 | 其ノ他ノ參考事項 | 先 | 歸郷(又ハ連絡) | 終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況 | 所屬部隊作戰經過ノ概要 | 所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要 | 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴 | 所屬部隊(固有名) | | 職官 | 氏名 | 終戦時ノモノヲ記ス |
|----------------------|----------|---|----------|---|---|---|--|-----------|------|------|----|-----------|
| | | | | | | | | 全右所在地 | 職官 | | | |
| 將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス | | | 積島村 | <p>1. 昭和十九年九月四日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>2. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>3. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>4. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>5. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>6. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> | <p>1. 昭和十九年十月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>2. 昭和十九年十月十五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>3. 昭和十九年十月二十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>4. 昭和十九年十一月五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>5. 昭和十九年十一月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>6. 昭和十九年十一月十五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> | <p>1. 編成 毎月 5 日</p> <p>2. 編成 毎月 5 日</p> <p>3. 編成 毎月 5 日</p> | <p>1. 昭和十九年四月 陸軍少佐 士官学校入校</p> <p>2. 昭和十九年三月 陸軍航空士官学校卒業</p> <p>3. 昭和十九年七月 陸軍少佐</p> <p>4. 昭和十九年九月 陸軍少佐</p> <p>5. 昭和十九年十一月 陸軍少佐</p> | 飛行第五十五戰隊 | 陸軍少佐 | 折尾信弘 | 記ス | |
| | | | | <p>1. 昭和十九年九月四日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>2. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>3. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>4. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>5. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>6. 昭和十九年九月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> | <p>1. 昭和十九年十月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>2. 昭和十九年十月十五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>3. 昭和十九年十月二十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>4. 昭和十九年十一月五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>5. 昭和十九年十一月十日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> <p>6. 昭和十九年十一月十五日 赤松島 フラウカ牧場所ニ收容</p> | <p>1. 編成 毎月 5 日</p> <p>2. 編成 毎月 5 日</p> <p>3. 編成 毎月 5 日</p> | <p>1. 昭和十九年四月 陸軍少佐 士官学校入校</p> <p>2. 昭和十九年三月 陸軍航空士官学校卒業</p> <p>3. 昭和十九年七月 陸軍少佐</p> <p>4. 昭和十九年九月 陸軍少佐</p> <p>5. 昭和十九年十一月 陸軍少佐</p> | 飛行第五十五戰隊 | 陸軍少佐 | 折尾信弘 | 記ス | |

60

浦賀上陸地支局

(昭和三十年十二月九日)



| 備考 | 其他ノ参 考事項 | 出身(又ハ 連絡元) | 終戦(又ハ主 力ノ戦終 了)後ノ状 況 | 所属部隊 作戦経過 概要 | 所属部隊 ノ編成年月 日及編制裝 備ノ概要 | 支那事変 以降ニ於テ 自己ノ略歴 | 所在地 | 職官 | 摘要 |
|--|-------------|---------------|---|--------------------|--------------------------------|---|----------|-------|---|
| | | | | | | | 飛行第六十五戦隊 | 氏名 | |
| | | 新潟県 | | 不明 | | 陸軍航空整備隊ヲ修 昭和十八年四月 飛行第六十五戦隊(転属) 昭和十九年九月 本ハネオ、クダツトニ前進(戦斗ナシ) 昭和十九年十一月 本ハネオニ前進 | 新潟県 | 吉本 宮晴 | 職、更更又 主ナル参戦 戦闘者ヲ記 ス。 |
| 各上陸地支局ハ各帰還將校ヲ以テ本報告ヲ記載セシメ テ一連員省史実部ニ連送スルモノトス。 | | | 昭和二十年九月六日 本ハネオハハブリカ收容所ニ入所 昭和二十年十月二五日 昭和二十年十月二五日 レイテ收容所入所、種紋ニ服ス 昭和二十年十月二五日 レイテ完 | | | | | | 最後ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以前 所属部隊 分チモ記載ス |

29

33

關東上陸地支局 昭和廿一年三月十八日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名)

獨立飛行中隊

職官

隊付少尉

全右所在地

昭南島

氏名

土屋俊雄

終戦時ノモノヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

特記事項無

職ノ變更及主ナ
ル參加戰團名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十九年三月一日
軍偵九機
整備一隊

所屬部隊作戰經
過ノ概要

昭和十九年七月、ミンダナオニ封鎖警戒在リ、
頁テ朝鮮ヨリ警備隊ヲ要化トシ、
セブホルネヲニ輕進、レイテ作戰開始ト
告ニ、ネグロスニ到リ、レイテニ作戰協力后
ホルネオニ輕進ス

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰團終了)
後ノ概況

昭和廿一年十月十日、ガボランガ收容所入所
昭和廿一年十月廿五日、レイテ收容所入所
昭和廿一年三月九日、右收容所去発
昭和廿一年三月七日、浦賀上陸

歸還輸送ノ状況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

廣島縣

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

0152

南洋上陸地支局

(昭和二十年一月一日)

史實調査参考資料報告

摘要

| 所在地 | 職官 | 准尉 | 檢 | 終戦時ノモノヲ記ス |
|--------------------|---|----|---|-----------|
| 比島ネグロス島マナポラ | 氏名 | 野口 | 檢 | ヲ記ス |
| 所属部隊 | 威二八九一三部隊 | | | |
| 支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴 | <p>昨一四八一昭一八九九向重慶機上射撃 昭一九九以降戦機整備 南洲 重慶攻勢 昆明(雲南)攻勢 ランコーン攻勢、リンカポール攻勢、バタンコロビトール 攻勢、中期航空作戦、比島作戦</p> | | | |
| 所属部隊 | <p>編成年月日 昭和一九年二月 日 編制裝備 戦隊 本部 飛行第一隊 官中事務者九名、主一三名 整備 隊 隊中機二七機、主四機 整備員約二五名</p> | | | |
| 所屬部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要 | <p>1. 集中 相模原 各機由マニラニ向テ約三機、夫々 2. 戦中 クラーク地ニ退避戦 官中勤務者共約三機 3. 戦後 約二五機 4. 戦後 約二五機 5. 戦後 約二五機 6. 戦後 約二五機 7. 戦後 約二五機</p> | | | |
| 所屬部隊ノ作戦經過ノ概要 | <p>1. 戦中 相模原 各機由マニラニ向テ約三機、夫々 2. 戦中 クラーク地ニ退避戦 官中勤務者共約三機 3. 戦後 約二五機 4. 戦後 約二五機 5. 戦後 約二五機 6. 戦後 約二五機 7. 戦後 約二五機</p> | | | |
| 終戦(又ハ主カノ戦終了)後ノ状況 | <p>飛行機(全部)帰還 地上部隊 飛行員ヲ送リ、戦中 一ヶ月中ヲ編成 戦中約二百名、終戦時七十名 半数ノ患者ニテ小銃、人員、四分一、機内銃、中隊ニテ 七、帰還輸送(各部隊)組(200名)ニ編成(昭一九九)死七名、生一七名、 傷者若干、死傷者若干</p> | | | |
| 歸郷(又ハ連送)先 | <p>枋木縣</p> | | | |
| 其他ノ参考事項 | <p>各上陸地支局ハ歸還將兵ヲシテ 本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ 連送スルモノトス</p> | | | |
| 備考 | <p>各上陸地支局ハ歸還將兵ヲシテ 本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ 連送スルモノトス</p> | | | |

浦賀上陸地支局

(昭和二年三月一日)

史實調査参考資料報告

| 所在地 | 職官 | 川 | 職官 | 摘要 | 所屬部隊 | 支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴 | 所屬部隊、編成年月日及編制裝備ノ概要 | 所屬部隊作戦經過ノ概要 | 終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)後ノ状況 | 歸郷(又ハ連送)先 | 其他ノ参考事項 | 備考 |
|-----|----|---|----|----|------|-----------------|--------------------|-------------|-------------------|-----------|---------|----|
| | | | | | | | | | | | | |
| 比島 | 進尉 | 川 | 職官 | 摘要 | 所屬部隊 | 支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴 | 所屬部隊、編成年月日及編制裝備ノ概要 | 所屬部隊作戦經過ノ概要 | 終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)後ノ状況 | 歸郷(又ハ連送)先 | 其他ノ参考事項 | 備考 |
| | | | | | | | | | | | | |

92

0154